

第6回但馬(円山川等) 地域総合治水推進協議会 議 事 概 要 (案)

事項	第6回但馬(円山川等) 地域総合治水推進協議会	出席者	協議会委員：15名 (国県関係部局・事務局等除く)
日時	令和7年2月13日(木)14:00～16:00	場所	豊岡総合庁舎 401 会議室
内容	1 開会 2 議事 (1) 但馬(円山川等)地域総合治水推進計画の取組実績 (2) 但馬(円山川等)地域総合治水推進計画の改定 3 情報提供 (1) 神戸地方気象台からの情報提供 (2) 豊岡河川国道事務所からの情報提供 4 閉会		
資料	【配付資料】 議事次第、協議会委員名簿、出席者名簿・配席図 但馬(円山川等)地域総合治水推進協議会 設置要綱及び公開要領 資料1 計画改定スケジュール 資料2 但馬(円山川等)地域総合治水推進計画の取組実績 資料3 但馬(円山川等)地域総合治水推進計画の改定 参考資料1 但馬(円山川等)地域総合治水推進計画におけるこれまでの取組 参考資料2 平成26年～令和5年の但馬(円山川等)地域フォローアップシート 参考資料3 次期計画の取組事業内容 参考資料4 但馬(円山川等)地域総合治水推進計画 本編(案) 参考資料5 但馬(円山川等)地域総合治水推進計画 資料編(案) 情報提供1 神戸地方気象台からの情報提供 情報提供2 豊岡河川国道事務所からの情報提供		

1 開会

但馬県民局長より開会のあいさつを行った。

2 議事

1)但馬（円山川等）地域総合治水推進計画の取組実績

事務局より、但馬（円山川等）地域総合治水推進計画の取組実績について説明を行った。

2)但馬（円山川等）地域総合治水推進計画の改定

事務局より、但馬（円山川等）地域総合治水推進計画の改定について説明を行った。

3 情報提供

1)神戸地方気象台からの情報提供

事務局より、気象台の令和 6 年度の防災気象情報の改善についての情報提供を行った。

2)豊岡河川国道事務所からの情報提供

豊岡河川国道事務所より、流域治水の取り組みについて情報提供を行った。

<意見交換>

主な意見等

2.議事

1)但馬（円山川等）地域総合治水推進計画の取組実績

・ 自宅が平成 16 年の台風 23 号で円山川が決壊した箇所の周辺であり、被災後に輪中堤工事を進めていただいて、安全になったと感じている。円山川本川は河道掘削を実施し、流下断面が広がって水位も下がったが、その影響で支流の六方川と鎌谷川では、流速が速くなり、河床低下が進んでいると感じている。河床低下により護岸の侵食が進み、整備したパラペットにまで影響が出るのではないかと危惧している。本川の河道掘削により、支川の流速が速くなったか等、他の支川についてもその様な調査をされているのか。（県民委員）

⇒河床が低下すると、ひどい場合は護岸背面の土砂が吸い出され、護岸が割れたりする危険性もある。県では河川の維持管理計画を作成しており、特に危ないところは年に 1 回点検をしている。六方川のご指摘の場所も年に 1 回調査している。具合が悪いところを発見したら対応する。現状、流速の観測はしていないが、水位が下がっているということはあると思う。それによってどのくらい流速が上がっているのかを把握することは難しいが、注視する必要があると考えている。（事務局）

・ 河床が低下した時に根入れの部分の被害が出ることは十分注意しなければならないが、余裕高を確保しておくということも出水時には大事であるので、両方の観点で注視する必要がある。（会長）

・ 立ノ原雨水ポンプ場の付近では、大雨の際に水路の水があふれると、通学路である道路との境がわかりづらく、以前に子供が流されてしまう事故が発生した。立ノ原雨水ポンプ場の完成のおかげで今は状況が改善し、安全・安心して小学生が通学できるようになり、地域から非常に喜ばれている。これは非常に良い取組であると思う。（県民委員）

・中郷遊水地の進捗状況はいかがか？（県委員）

⇒下池では、堤防を囲うための囲繞堤もだいぶ完成してきており、今年度、排水樋門や環境用の流入樋門の最終的な工事を発注している。令和7年度完成に向けて動いているが、年度内の完成は厳しく、それに近い部分で完成していきたいと思っている。上池では、下池より遅れている状況であり、工事完了の目処がわかり次第説明させていただきたい。（国委員）

・ため池の対策が当初の計画より進んだ要因は何か？（国委員）

⇒平成16年災害の際、ため池で大きな被害が発生したため、県ではため池整備に力を入れてきたことが一因だと考えている。ため池は土地改良センターで所管しているが、但馬3市2町でため池は186箇所ある。その中で特に危険なところや重要なところを重点的に調査した上で事業を進めている。田んぼダムについては、堰板で嵩上げすることによって田んぼで貯留できるというしくみ。当初県の費用でサンプルを配っていたが、最近は各市町で配布されたり、国の交付金を活用したりして堰板を導入しているところもある。（事務局）

2)但馬円山川等地域総合治水推進計画の改定

・豊岡市は内水被害をかなり受けている。ほとんどが農林関係のポンプで排水している。市街地の住宅が増えてきて農地が減ってくると、農林の対応のみでは手に負えない状態である。ポンプについて所管の見直しをかけてもらえないか。台風23号のような場合、ポンプを全部停止するので内水被害が生じる。内水被害について考えてほしい（県民委員）

⇒すぐには回答できないが、ポンプ整備について関係者や、市、県の意見を聞きながら対応を検討していきたい。（国委員）

・奈佐川での堤防補強事業の予定はどうなっているのか？（県委員）

⇒事務局で確認し、後日報告する※。（事務局）

※（奈佐川の堤防補強）優先度の高い箇所については完了済み

・次期計画の取組事業について、新規項目の追記や、予定より早く進捗した事業を前倒しにする等の、柔軟な対応を行うのか？（会長）

⇒あくまで現状の資料であり、状況に応じて進められるところはどんどん進めていきたい。（事務局）

・河川水位やカメラなどの情報発信について、国のホームページはわかりやすいが、県の方はまだ進んでいないのではないかな。また、小さい河川については水位計やカメラがついていない。現地に見に行くと事故が起こるという報道があるように、家ですぐに見られるよう、小さい河川についても、カメラや水位計を設置して欲しい。（県民委員）

⇒・県でも「兵庫県CGハザードマップ」で河川情報を公開しており、ある程度の情報は確認できている。ただ、小さい河川については対応できていないので、今後、ワンコイン浸水センサーなどの新技術を活用して対応していきたい。（事務局）

凡例

・：意見等
⇒：回答等

・行政は住民にわかりやすいように情報の提供をしていただきたい。住民の方も、自分で平時確認していただき、いざというときにすぐ使えるようにしていただきたい。情報提供については受け取る側のことを考えていただけるのが大切である。(会長)

⇒昨年の1月1日に能登半島地震で、但馬の日本海側で津波警報が出たこともあり、兵庫県CGハザードマップは更新し、津波関係は検索しやすくしました。また、各市町と連携し、広報誌にURLやQRコードを掲載していただいた。河川の方はまだ対応中のところがあり、今後対応を検討していく。(県委員)

・湯舟橋に監視カメラと水位計が設置されているが、大雨が降ると毎回欠測する。カメラ、水位が出水時に確認できるように対策をお願いしたい。(県民委員)

・重要なことであるので欠測等無いようにぜひお願いしたい。(会長)

⇒状況を確認し対応する。(事務局)

・貝原知事の時代に防災士制度が出来た。阪神淡路大震災を経験した兵庫県では防災士はもっと多くないといけませんが、なかなか若い人に受講してもらえない。県の防災リーダー講座は半年間にわたって月2回開催され、期間が長すぎて受講しないという意見が出ている。愛媛県では自主防災組織や地区より推薦された人は無料で講座を受けることが出来て、防災士の数は兵庫県の2倍である。メンバーも高齢化しているので、より多くの方に講座を活用して、受けられるように働きかけてほしい。(県民委員)

⇒・担当部署に情報を共有させていただく。

・計画のフォローアップについては、本編に「計画は概ね5年で進捗状況、検証や計画の総合点検を行う」とあるが、それはどこが、どのようにされるのか伺いたい。(県民委員)

⇒事務局で進捗状況等のとりまとめを行い、協議会を定期的を開催し確認いただく予定である。(事務局)

閉会

(以 上)